

序

本学演習林長 和田茂彦教授は、平成5年3月31日付をもって定年退官されることになりました。

和田先生は、昭和38年11月に林学教室から演習林に配置換えとなられ、30年にわたり森林の計測や、森林の動態に関する研究をすすめられ貴重な成果をあげられるとともに、森林計測学および実習を担当され、学生の教育に厚い情熱を注いでこられました。一方先生は、昭和38年11月から芦生演習林長をはじめとし、北海道、和歌山の各演習林長、白浜、徳山の各試験地の主任を歴任され、各演習林や試験地の研究教育機能の活発化のための運営方法の改善や、施設の充実にご尽力され数々の成果をあげられました。さらに、平成2年4月から演習林長に就任され、演習林が従来かかえてきた諸問題の解決と、新しい時代に対応した演習林の整備にむけて真摯に取り組まれてきました。

ここに、先生のご退官に当り、主にすすめられてきました研究テーマである「森林計測」と、「天然林の動態」に関する論文集を演習林集報特別号として発刊し、あわせて先生のご功績に心から謝意を表すものであります。

平成5年3月

京都大学農学部附属演習林

教授 川那辺 三郎